

東日本大震災の復興支援への取組み状況の報告

報告日：2011 年 4 月 25 日

支部・部会・実行委員会・登録グループ名

電気電子部会

責任者名 / 報告者名

部長：村野 佳大

取組みの状況（検討状況、予定等含む）2,000 字以内

1. 喫緊の課題

被災者の不安解消の相談：

技術情報、説明：

- ・感電防止の説明
- ・電源を入れる前のチェック事項
- ・壊れた太陽光パネルの安全な処理法の説明
- ・ゴムは必ずしも絶縁体でない（導電性ゴム）ことの説明

現地の支援活動：

- ・流木等の木チップ化による利用の提案

生木、木材などをチップ化できる自走式破砕車を使用して流木などの木質をチップ化し

a. 燃料として再利用する（ペレット）

b. 牛・鶏糞混入により肥料を作り、塩分過多な地盤の改良を行う

被災自治体への技術支援：

- ・復旧工法、工具等の提案

各々で保有している復旧工事方法や工具、重機等の使用に関する提案

- ・新素材の提案

堤防など海中、沿岸コンクリート構造物へ鉄筋を使用した場合の錆によるコンクリート

劣化を防ぐ鉄筋代替の新素材としてアラミド筋の提案

2. 中期的な取組み

二次災害防止： センサーによる地盤、橋梁などの変形などの異常検出システムの提案

エネルギー問題等： 再生可能エネルギーシステムの導入及び複合システムによる電源構

成の定案

復興まちづくり自治体支援：

- a. まちづくり提案、法規制の緩和制度、優遇制度の提案

b. 品質確保を重要とする物件には、低価格入札など問題の多い、一般競争入札をやめ、指

名競争とするなど入札制度を見直す

広域的・長期的復興計画の支援：

- a. 復興計画の組織には学術経験者と称する実務に熟達していない人選が多く見受けられるた

め、実務経験豊富な各部門の技術士採用を提案する。

- b. ハザードマップによる、街づくりに対策を盛り込みための提案

新たな指針・制度作成：

- a. 新素材の導入提案、新たな耐震および耐津波基準の策定、

- b. 液状化現象の研究

以上